

市立病院について

問 医師数減少による医療、保健、介護、福祉面への影響、その対応策と改善をめざした病院機能評価システムを取り入れる考えは

答 市内開業医の先生や周辺の病院への依頼を検討して、支障のないように対処します。老人保健施設や療養型医療施設について、医療依存度が高く専門的治療を必要とする方には他の施設を紹介します。病院機能評価システムの導入については、病院の立て直しの目的が立った段階で検討します。

問 地震等の大規模災害時における救急医療体制は

答 通常の救急医療体制と同様に、内科以外は当院で対応し、状況により第二次救急医療施設（浜松医大等の大きな

病院）へ移送となります。内科については事前に連絡をいただき当院で応急処置を施した上で転院をお願いしたいと思っております。

行政評価向上について

問 国の三位一体改革をうけて、地方分権が叫ばれていますが、より一層の住民サービスが求められ市職員の専門知識の取得、サービス向上、無駄の排除をするための方策は

答 民間経営を参考にした研修にも積極的に参加し、職員の意識改革に努めます。職員の提案制度、体制作りも検討していきます。来年からは給与構造も50年ぶりの大改革となり、民間と同様年功序列から、職員の能力に合わせた給与体系になります。よりよいサービスを提供するために人材育成に努めます。

病院改革

(疑惑) について

問 1、医師要請は基本的には浜医大一辺倒だが、浜医大は人事も決まっただけで出さないと聞いている。他の大学にも要請すべきだ。2、17年3月11日のホテル聴涛館での会食は、4人で10万6千円だが常識では考えられない。酒代も入っており返還は考えているか。3、機器購入で16年末、定位脳手術装置を購入したが、購入前約1年半、(株)八神製作所から契約書もなく借用し、10名の患者の手術を施行し収入を得ている。公正取引委員会に抵触しないか。4、定位脳手術装置購入後、台湾で行われた神経外科学会に横山先生が出席されているが、旅費を会社が提供している。賄賂ではないか

答 浜医大にも要請しているが県の指導もいただいています。浜

医大はともかく私どもも一生懸命やるので浮気をしないで頑張つて欲しいと言っているもので、浜医大の指示に従っています。会食の件については、今までもメロン、お茶などを持ってお願いに行っています。医大の先生との話し合いの中の会食であり、若干高いとの感じはしますが、医者をお願いするという形の中で行ったこと、問題はないと認識しています。

問 プルサーマル実施計画で重大な懸念を持っている。佐倉地区多目的ホールは、突如1億円の増額をされたが、プルサーマル問題で配慮されたと言われている。プルサーマルを認める代わりの増額は許されないのでは

答 佐倉多目的ホール建設は、佐倉公民館が老朽化、耐震対策で、一体的管理の方が経費の節減となるため、事業の見直しを図り、電源三法で1億円増額しました。